COLUMN
コラム　萩原　智子



水泳を競技者として23年間やってきた私にとって、水はかけがえのない存在です。極端な話をすると、飲み水がなくなれば、水泳は一番初めになくなるスポーツです。その前に水がなくなったら、人間は生きていくことはできません。そんな大切な水のことをもっと理解し、より一層身近に感じたいと思い、しっかり水のことを勉強したいと思いました。

そんな思いから、先日、一般社団法人日本アクアソムリエ協会によって資格認定されるアクアソムリエ（旧名：アクアアドバイザー）の講義を受けてきました。アクアサイエンス、水がある生活、水道水とミネラルウォーター違い、水が体をキレイする訳、世界の水が危ない・・・など様々な視点から勉強！久々の勉強は新鮮でした。講義の中では、軟水、中硬水、硬水のテイスティングも行い、日本はなぜ軟水で、ヨーロッパはなぜ硬水なのかの疑問も解けました。アクアソムリエの資格を取得するため、しっかり勉強期間を設けて、筆記試験とテイスティング試験にチャレンジしました。そして先日、無事に合格通知が届いたのです。

今後は、水泳選手としても、一人のアクアソムリエとしても、水の価値や重要性、大切さをしっかりと伝えられるよう精進します。水のある生活が、どれだけ私たちを豊かで幸せにしているのか。水の基礎知識を広め、水を生み出す自然環境の保全にも取り組んでいきたいと思います。

いつの時代でも、安全な水が生まれること、水のある豊かな生活が送れること、水と共にスポーツができる環境が続くよう行動したいです。

Profile
プロフィール

名　　前　萩原智子（はぎわら・ともこ）
生年月日　1980年4月13日
肩　　書　日本水泳連盟理事
出 身 地　山梨

出身校　山梨学院大学付属高等学校
　　山梨学院大学
　　山梨学院大学大学院

中学3年生時に、海外遠征カナダ選手権200m背泳ぎで、当時、日本歴代2位となる日本中学新記録樹立。
高校インターハイでは、200m背泳ぎで、3連覇達成。同年アジア競技大会では、個人、リレー種目で、3個の金メダルを獲得。
2000年シドニー五輪、200m背泳ぎ4位、200m個人メドレー8位入賞。2002年日本選手権では、100m、200m自由形、200m背泳ぎ、200m個人メドレーで史上初の4冠達成。「ハギトモ」の愛称で親しまれ、2004年現役引退。
5年の歳月を経て、2009年現役復帰宣言。復帰レースとなった新潟国民体育大会では大会新記録で優勝。
翌年2010年には、30歳にして日本代表に返り咲いた。同年、ワールドカップ東京大会で50m自由形、100m個人メドレーで、短水路日本新記録を樹立。
2012年2月のJAPAN OPENでは、50m自由形で短水路日本記録を樹立。
2013年6月、日本水泳連盟理事に就任。
2015年、2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員に就任。
現在は、テレビ・ラジオ出演や水泳の解説のほか、自ら現場に行って取材を行い、ライターとしても活動の幅を広げている。
メディア出演のほかにも、これまでの人生経験をもとに講演活動を行うほか、改めて、自身を育ててくれた「水」に感謝し、水泳教室はもとより、「水の大切さ」や「水の教育」にも取り組む水でエデュケーション・コミュニケーションする「水ケーション」の活動にも注力している。また山梨県、福島県、愛知県で水泳大会「萩原智子杯」も開催している。

●投稿募集中

【会員紹介コーナー】
①A5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

【行事予定】
○主催団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等をお教えください。

きれい甲斐（かい）

No.84　MARCH　2019

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

環境パートナーシップやまなし
事務局●〒400-8501山梨県甲府市丸の内1丁目6-1山梨県森林環境総務課内
TEL.055-223-1657　FAX.055-223-1636　✉sinkan-som@pref.yamanashi.lg.jp
ホームページ　パートナーシップやまなし　検索
発行責任者●企画委員長　志　村　宏　司

R80　古紙パルプ配合率80%再生紙を使用しています

やまなし環境活動推進ネットワーク フォーラムを開催しました



環境パートナーシップやまなしは、3月9日（土）に「やまなし環境活動推進ネットワークフォーラム」を公益財団法人やまなし環境財団との共催で開催しました。
当日は約70名の方々に参加していただき、午後1時から4時まで環境保全に向けた取り組みについて活発な情報交換がなされました。
前半では、環境保全に向けた活動を実践している2団体から日頃の活動内容について発表していただきました。

《リレートークによる活動報告》

広がれ!小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会
「小瀬を環境山梨のシンボルに!」



“広がれ！小瀬エコスタジアムプロジェクト実行委員会”からは、前半に㈱ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブより、スポーツと清掃活動を軸とした「LEAD TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト」や、2018年12月にポーランドで行われたCOP24での事例発表についてお話いただきました。後半では、認定NPO法人スペースふうより、ヴァンフォーレ甲府のホームゲームにおけるリユース食器の導入や、エコブースでの啓発活動についてお話いただきました。環境に配慮したスタジアムとなるよう、今後もゴミ拾いやグリーンエネルギーの導入等、エコ活動を継続していきたいとのことです。

山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト
「海のない“山梨”から『海ごみ』を考える　始動!Yama-P」



“山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト”からは、桂川のプラスチックごみによる汚染の状況や、国内外におけるプラスチックごみ対策の動向等について発表がありました。未来のために私たちができることとして、マイバッグ及びマイボトルの使用や、ごみの分別、ゴミ拾い、ポイ捨て禁止などが挙げられ、海ごみは他人事ではなく自分事として考えていく必要があるとのことでです。今後とも、プラスチックごみゼロに向けた理解と協力を呼びかけていくとのことです。

《ポスターセッションによる交流》





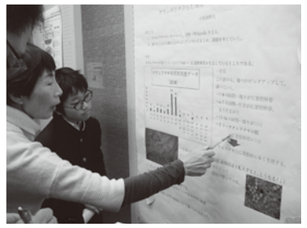
後半では、昨年度に引き続きポスターセッションを行い、桂川・相模川流域協議会、都留・水みず探検隊、認定NPO法人　スペースふう、認定NPO法人　日本釣り環境保全連盟、北杜市立甲稜中学校、ライカーズアカデミアが発表しました。
鳥屋尾運営委員にコーディネーターを務めていただき、各個人・団体の作成したポスターを基に、日頃の活動内容・課題・これからの展望などについて発表を行いました。

桂川・相模川流域協議会からはセルローススポンジ等、私たちが身近にできるプラスチックの削減について、都留・水みず探検隊からはライフスタイルにおける石鹸の有効活用について、認定NPO法人　スペースふうからはリユース食器の展示や活動実績について、認定NPO法人　日本釣り環境保全連盟からは釣り道具による環境汚染の実態やポークルアー等環境に配慮した釣り道具について、北杜市立甲稜中学校からはオオムラサキの生態に関する調査結果について、ライカーズアカデミアからは先端技術を利用した環境調査や活動実績について発表がありました。その後の交流時間では、発表者と参加者相互の活発な情報交換を行い、参加者は付箋に書いたメッセージをポスターに貼り、発表者へ感想や応援の言葉を伝えました。

ネットワークフォーラムの最後に、公益財団法人やまなし環境財団の箕浦一哉運営委員長から、「リレートークでは力強い発表をいただいた。ヴァンフォーレ甲府の取組みは環境に関心のない人々も巻き込み広げていく力、またそれを継続していく力、Yama・Pは日本の中でもいち早く内陸県での取組を推進している点が素晴らしい。ポスター発表では楽しく交流を深めることができた。今後は環境にあまり関心のない人、また若い世代の人たちに参加してもらえるよう、知恵を出していきたい。」との講評をいただき、閉会となりました。

ネットワークフォーラムに参加していただいた方にアンケートを実施した結果、様々な団体の活動を知ることができて良かった、ポスターセッションでは発表者と参加者の交流がより深くとれて良かった、中学生の発表がとても良かったなどの回答をいただきました。







感謝状贈呈式・「やまなし環境美化推進ポスター・標語コンテスト」表彰式を行いました

やまなし環境活動推進ネットワークフォーラムの第1部では、公益財団法人やまなし環境財団が、同財団に寄附をされた団体の方々へ感謝状を贈呈しました。また、ごみの散乱防止及び3Rによる環境美化を進めるため、県内の小中学校、高校を対象に山梨県が主催するポスター・標語コンテストの優秀賞受賞者を表彰しました。

【感謝状被贈呈者】
- マックスバリュ東海株式会社
- イオンリテールストア株式会社イオン大月店
- イオンリテール株式会社イオンスタイル甲府昭和





平成30年度 やまなし環境美化推進ポスター・標語コンテスト 優秀賞受賞者

ポスター部門



＜小学校低学年の部＞
山梨大学教育学部附属小学校 2年
雨宮　誉華さん



＜小学校高学年の部＞
山梨市立日下部小学校　5年
若月　凛咲さん



＜中学校の部＞
身延町立身延中学校 3年
青沼　海琴さん



＜高等学校の部＞
山梨県立甲府第一高等学校　2年
小野　綾華さん

標語部門

＜小学校低学年の部＞

『ごみがない　きれいなやまなし　金メダル』

富士吉田市立下吉田第二小学校　2年　小野塚　こころさん

＜小学校高学年の部＞

『みんなの手　すてる手、ひろう手　どっちの手』

昭和町立押原小学校 5年 玉城　美南海さん

＜中学校の部＞

『続けよう　未来のための　リサイクル』

甲斐市立双葉中学校 1年 小林　伶壱さん

＜高等学校の部＞

『あなたの手　地球を守る　魔法の手』

甲府商業高等学校 2年 手塚　帆菜実さん

